

6年学年通信 No.10

今日は、ヴァイオリニストの篠崎史紀さんと、ピアニストの野瀬百合子さんが、音楽宅配便で小学校に来て下さいました。

一時間のプログラムの中で、篠崎さんと野瀬さんは、たくさんのお曲を演奏して下さいました。その中でも私は、クライスラー作曲の「美しきロスマリン」という曲が心に残りました。理由は、曲の中で馬の尻尾の毛が使われている弓を弦に当てて音を出すだけでなく、指で弦をはじかせて音を出していたからです。弓を弦に当てて音を出すことは知っていましたが、指で弦をはじいて音を出すことは知らなかったの、色々な音の出し方があるんだな。」と思いました。

弓と弦をこすり合わせているだけなのに、どうしてあんなにきれいな音が出るのかと不思議に思いました。プロの演奏を観て聴いて、本当に良い経験になりました。

篠崎さんのヴァイオリンと、野瀬さんのピアノをまた聴きたいです。そして、夏休みに行われるNHK交響楽団のコンサートもとても楽しみだ。